

第 30 号 令和元年 9 月発行
社会福祉法人 關 済生会支部
宮城県済生会乳児院
仙台市宮城野区東仙台 6 丁目 1-1
TEL 022[299]0825

ご挨拶



宮城県済生会乳児院長 遠藤 清之

皆さま、いつもお世話になっております。

猛暑の後は、長雨、台風など全国的にも極端な天候が続いております。これも地球環境の変動のせいでしょうか。このような天候は、年齢を重ねるにつれて厳しいものがありますが、当院の子どもたちはおかげさまで元気に、夏を乗り切っております。

6 月から 8 月は、子どもたちの院外行事でのお出かけが多くありました。動物園、水族館、七夕祭り、いずれも担当の先生と一緒ににお出かけしておりました。また、天気の良い日(暑い日)は、院庭でのプール遊びを行っていました。みんな大喜びで水につかっておりました。

7 月には、職員の皆さんと個別の面談を行いました。職員が不足している中、職員の皆さんには、非常なご苦勞をおかけし、そのような中で懸命に子どもたちの支援を行っていただいております。また、面談では、様々な要望もいただき、出来るところから取り組んでいきたいと思い、様々検討しております。

当院は、昭和 48 年建造の古い施設ですので老朽化が進んでおり、建て替えの計画を進めているところであります。建物は古くとも、中にいる職員全員が、子どものための支援を惜しまず、身を粉にして継続してくれております。院長としても職員の皆さんに感謝し、全員で一丸となり、子どもたちの明るい笑顔を求めていきたいと思っております。

保育目標

厳しい現実には負けない
素直で優しく
身も心も健康な子の育成

保育方針

- ・筋道を抑え、その時々適切な援助をし、生活習慣を正しく身につけさせる。
- ・子どもの気持ちを汲み取りながら、自発性の発達を助長する。
- ・四季折々の自然や行事に触れ豊かな感性を育てる。
- ・色々な遊びを通し、友達と触れ合う喜びや思いやりの気持ちを育む。



七夕まつり



7月7日の七夕の日。「七夕お楽しみ会」が開かれました。みんなで七夕さまを歌い、星づくしのお菓子を食べたりと楽しい時間を過ごしました。そしてこの日一番のサプライズ!!子供達が自分で色を選んだ星のスティックを持ち、いざ星の世界へ。面会室を暗くして、ダンボールで作った手作りプラネタリウム。暗い部屋に怖がる子もいましたが、部屋一面に広がる大小カラフルな星に大喜び。この日、キラキラと瞳を輝かせている子供達を見て、健やかな成長を願う日となりました。

伊藤 由希子



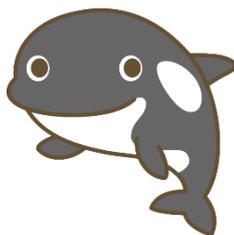
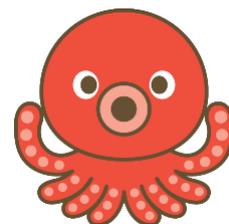
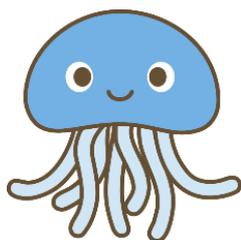
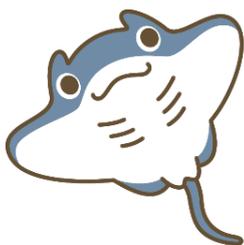
仙台七夕まつり

今年も、院外保育で仙台七夕まつりへお出かけしてきました。暑さに負けず、大きな七夕飾りに大喜びの子供達でした。外で食べるお菓子やジュース、出店の冷やしパインやきゅうりにも大満足のような様子でした。



院外保育

仙台うみの杜水族館へ行きました。初めて見る大きな水槽の中にはたくさんの生き物達がいる、驚いたり、喜んだり、怖がったりと子ども達の反応は様々でしたが、それぞれに良い思い出を作る事が出来ました。



編集後記

院内行事では七夕と夏祭りを楽しみ、お出掛けでは仙台七夕見学と水族館へ行き、
天気の良い日は水遊びをして、今年もたくさん夏を満喫した子ども達でした。
秋は食欲の季節！みんないっぱい食べて大きくなろうね！！
次号でも、元気いっぱいな子ども達の様子をお伝えしたいと思います。